

Title	COVID-19と女性エンジニア活生分科会(JWSE)の挑戦
Author(s)	吉祥, 瑞枝
Citation	年次学術大会講演要旨集, 35: 814-817
Issue Date	2020-10-31
Type	Conference Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/17301
Rights	本著作物は研究・イノベーション学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Research Policy and Innovation Management.
Description	一般講演要旨

COVID-19 と女性エンジニア活生分科会（JWSE）の挑戦

○吉祥瑞枝（東京理科大学，サイエンススタジオ・マリーSSM）

kissho-y@fol.hi-ho.ne.jp

1. はじめに

JWSE の活動は 2015 年発刊の JWSE 分科会特集号にまとめられている¹⁾。特集号 2 の発刊準備にあたり、補足する意味でも、分科会成立までの懇談会とそれ以前の水面下から顕在化するまでの経緯にも触れる。さらに、2015 年 4 月以降から本年 2020 年度までを総括し考察する。

COVID-19 の社会的、経済的影響は大きく、日本中を本年 2 月以来一変させた。8 月初旬の AIDA 航空セミナー（(一社)航空イノベーション推進協議会）オンラインセミナーは“世界の航空状況がコロナ前のレベルに回復には 2024 年のグラフ”が示されていた。不確かな未来は過去に学ぶ。1918 年のスペイン風邪の 3, 4 年の長期戦に学んで、少なくとも 3, 4 年の長期戦になることを認識し、例えばこれまでの JWSE 例会方法は通用しない。現実に“何が起きているのか”を注視し、これからの活動には臨機応変時機相応にあたっていかなければならない。あえて、オーバーな表現“挑戦”である。

2. JWSE の沿革

2.1 JWSE（2007 年以前の黎明期 と 2007 年）

2007 年 5 月 22 日夕、科学技術における男女共同参画に関する懇談会（第 1 回）が研究・技術計画学会主催のもと、当時丸の内所在の文部科学省に隣接した三菱ビルの科学技術政策研究所セミナー室 9 階の 2 室を一室に広げて、内閣府男女共同参画局 板東久美子局長の講演と男女参加者の熱気ある自由討論がなされた。（本懇談会の趣旨概要は“世界的に見て明らかに遅れている日本の科学技術における男女共同参画について議論・意見交換することを目的とする。”）黎明期は 2002 年頃から学会員有志数名の自主的勉強会が霞が関の東京倶楽部ビルで始まった。

筆者の関心分野である“女性と科学”、“女性と STEM”研究は本学会での発表もさることながら、幕張メッセでの STS 国際会議“Women, Science and Japanese Society” March, 1998、EU 国際会議

“Women in Industrial Research (WIR) Speeding up changes in Europe”に招かれ“Present Status of Women in Industrial Research in Japan”, Berlin, Oct. 2003 に参加発表などであった。懇談会から分科会への道のりに 2, 3 年経た。

研究・技術計画学会第 22 回年次学術大会が 2007 年 10 月 27 日（土）亜細亜大学で開催、その学会要旨集に JW 企画セッションは掲載に至らなかったが、“女性活生社会をめざして”と題した参加を呼びかけの書面を郵送し、企画セッション“科学技術における女性活躍のために”が開催された。現在の女性賛歌フレーズである“女性活躍”である。（参照 表 1）

2.2 JWSE 2008 年 - 2014 年

本学会の年度は秋である。この本学会年度と暦年が混同されて、しばしば混乱とミスコミュニケーションを生じている。分科会特集号創刊（Vol. 30, No. 2. 2015）を参照されたい。JWSE 企画セッションについて記載は 2010 年であるが、本稿の（表 1）を参照。

2.3 JWSE 企画セッション

秋の本学会年次学術大会に企画セッションが設けられる。企画セッションはパネル討論形式で、少なくとも 1 名～2 名の外部講師を招き、会員外も参加できる外部に開かれた場である。多様な視点と JWSE 会員との交流の場として活性に努めている。なお、会員レベルでは、一般のセッションの中でも関連するテーマの発表が少なからず行われている。

各分科会活動は秋の年次学術大会における総会配布資料に、例会や他団体と共催開催回数ならびに参加者数合計が記載報告される。しかし、企画セッションは年次学術大会講演プログラムに記載のみであ

る。女性エンジニア活生分科会 JWSE は 2015 年に発刊した“女性エンジニア活生分科会特集号”(Vol.30, No.2/2015)において、2010 年から 2014 年の 5 年間のテーマ記載の表を作成した。今回は女性エンジニア懇談会 JW 2007 年から現在までの JWSE 企画セッション、2007 年から 2020 年までの 14 年間のテーマ、基調講演・講演の講師、パネラーや登壇者を(表 1)にまとめた。

3. おわりに

これからはニューノーマル(新常态)時代の到来、それは COVID-19「ウイルスが周囲に存在する」という前提での生活である。8 月末から 9 月初めにかけて突如、菅内閣に変わった。「女性活躍」は 2012 年に第 2 次安倍政権発足、翌 2013 年の成長戦略の柱のひとつとして「女性が輝く日本」を位置づけ、女性役員・管理職の増加、子育て後の起業支援などの政策目標を掲げた。2015 年「女性活躍推進法」が成立した²⁾。日本の製造業、サービス業などの現場でのダイバーシティの推進である。

COVID-19 で浮き彫りされた課題は、ZOOM 会議など、これまでに使ったことのない道具(ツール)を使う。本年 3 月 JWSE 例会は講師、参加者ともども初めての ZOOM 会議であった。今後、猛スピードで進化していく道具の新奇な体験を習得しながら、JWSE は間断なく“挑戦”していくことになるであろう。

参考文献

- 1) 研究 技術 計画 The Journal of Science Policy and Research Management, 第 30 巻第 2 号, 2015
- 2) http://www.gender.go.jp/policy/suishin_law/horitsu_kihon/index.html

表 1. 年次学術大会企画セッションにおける JWSE 企画セッション 2007-2020

2007. 10 10/27	第 22 回年次学術大会(亜細亜大学) 企画セッション* 【女性活生科学技術における女性の活躍のために】 私のキャリアパス ○ 斎藤葉子((財)リモート・センシング技術センター)
2008. 10	第 23 回年次学術大会(東京大学生産技術研究所) JW【女性エンジニアの現状と将来の問題】 司会 小林信一(筑波大学) 講演中原恒雄(元会長・EAJ 会長)、岡田耕作(文科省基盤政策課課長補佐) 網淳子(東芝研究開発センター)、仲俣千由紀(IHI 航空宇宙事業本部技術 開発センター)
2009. 10 午前 I I	第 24 回年次学術大会(成城大学) JWSE【科学技術における女性の活躍のために】 司会 吉祥瑞枝 パネリスト: 玄間千映子(アルティスタ人材開発研究所)、小宮泉(JST)、 椿美智子(電通大)、仲俣千由紀(IHI) コメンテーター 土屋秀雄 (元味の素)、弘岡正明(テクノ経済研究所)
午前 II	【科学技術人材の養成・確保に関する諸問題】 司会 永野博 パネリスト: 泉紳一郎(文科省科学技術・学術政策局長)、小口幸成 (神奈川工大前学長・鷗友学園理事長) 中原恒雄(EAJ 会長) コメンテーター 今井兼一郎(IHI 元専務取締役)
2010. 10 午前 I I	第 25 回年次学術大会(亜細亜大学) JWSE「科学技術における女性の活躍のために」 「21 世紀の女性技術者 I」 挨拶池島政広(亜細亜大) 司会 吉祥瑞枝 パネル討論: 椿美智子(電通大) 小宮泉(JST) 仲俣千由紀(IHI) 玄間千映子(アルティスタ人材開発研究所) コメンテーター 弘岡正明(テ クノ経済研究所)
午前 II	「21 世紀の女性技術者 II」 挨拶中原恒雄(EAJ 名誉会長、元会長) 司会 鳥井弘之 パネリスト 板倉周一郎(文科省基盤政策課)、小口幸成 (神奈川工大前学長・鷗友学園理事長)、松本和子(理科大)、長谷 川幹雄(理科大)、コメンテーター 杉田清(EAJ)

2011. 10	<p>第 26 回年次学術大会(山口大学)</p> <p>【世界で活躍できる女性エンジニア育成を目指して】 司会 武田康嗣 挨拶 池島政広(亜細亜大) パネリスト: 澤田美智子(産総研総務本部ダイバーシティ推進室長)、羽田野袈裟義(山口大社会建設工学)、鹿野憲子(JPEC)、吉祥瑞枝</p>
2012. 10	<p>第 27 回年次学術大会(一橋大学) 【女性と科学・技術・工学】 座長 中原恒雄 パネリスト: 椿美智子(電通大)、吉野誠(電通大)、加藤真紀(NISTEP)、若月温美(東葉高)、若月聡(理科大)、山田理(産総研)、吉祥瑞枝、小口幸成(鷗友学園)、杉田清(EAJ)</p>
2013. 11	<p>第 28 回年次学術大会(政策研究大学院大学)</p> <p>【科学技術における女性の活躍のために】 司会 武田康嗣 パネリスト: 吉祥瑞枝、桜田今日子(独法国立女性教育会館専門官)、武田幸子(株)日立横浜研究所主任研究員、辻篤子(朝日新聞オピニオン編集部員)</p>
2014. 11	<p>第 29 回年次学術大会(立命館大学 大津) 【未来を支える女性エンジニア】 司会: 吉祥瑞枝・小林信一 パネリスト: 小林信一(国立国会図書館)・鹿野憲子(JPEC)・中田喜文(同志社 ITEC)・弘岡正明(テクノ経済研究所)・山田理(産総研)・若月聡(東京理科大)・吉祥瑞枝(JWSE)</p>
2015. 10 10/10 午前	<p>第 30 回年次学術大会(早稲田大学)</p> <p>【未来に渡り女性エンジニアが輝く社会作り】 「女性エンジニアが活躍する職場を作るには何が必要か」 ○水本伸子氏 株式会社 I H I 執行役員 グループ業務統括室長 パネル討論「未来に渡り女性エンジニアが輝く社会作りのポイント」座長 鳥井弘之、パネリスト: 水本伸子(IHI)・鳥井弘之(日経)・宮浦千里(東京農工大)・椿美智子(電通大)・加々美勝久(お茶大)</p>
10/11 午後	<p>「持続可能な科学技術・イノベーション創造立国づくりの要～エンジニアリング・リベラルアーツのすすめ～」 ○柘植 綾夫(公社)科学技術国際交流センター会長 「私の主張 - 女性エンジニア活生にむけて-」登壇者 中原恒雄(元会長、元住友電工)、小口幸成(鷗友学園理事長)、吉祥瑞枝(JWSE)、鹿野憲子(JPEC)、杉田清(元新日鉄)、土屋秀雄(元味の素)、吉井洋子(耐火物技術協会)、武田康嗣(元会長・元日立工機)</p>
2016. 10 午前	<p>第 31 回年次学術大会(青山学院大学) 【女性エンジニア・研究者の挑戦と展望】 「科学・技術と企業活動ーエンジニアに求められるもの」 ○佐藤順一(公社)日本工学会会長・(国法)科学技術振興機構 研究開発戦略センター上席フェロー 「創造工学的考察による女性活躍への期待」 ○杉田清(EAJ・元新日鉄) 「産業界における理系女性の活躍促進に向けた経済産業省の取り組み」 ○飯村亜紀子(経産省 産業技術環境局大学連携推進室長) 「頑張る中小企業女性社長」 ○橋本久義(政策研究大学院大学名誉教授) 「JWSEについて」○吉祥瑞枝(JWSE)</p>
午後	<p>【明日を支える女性エンジニア・研究者】 パネル討論 座長: 土屋秀雄 「女性研究者に関する研究の向上を目指してー現状把握調査から、政策に資する分析」 ○小林淑恵(文科省 科学技術・学術政策研究所) 「女子と数学-女性の理工系キャリアを阻むもの」 ○萩谷美也子(サイエンスライター) 「女性研究者の活躍状況に関するデータ分析」 ○藤原綾乃(文科省 科学技術・学術政策研究所)</p>
2017. 10	<p>第 32 回年次学術大会(京都大学) 【女性活躍の時代にむけて】 挨拶 武田康嗣元会長代読「JWSEについて」○吉祥瑞枝: JWSE</p>

2018. 10	<p>「女性研究者支援-京都大学の取り組み-」 ○稲葉カヨ：京都大学 理事・副学長 「自分の能力を活かし、協働してイノベーションを起こそう」 ○久野美和子：電気通信大学客員教授 「女性の活躍推進企業データベースに見る女性技術者の働き方分析」 ○林 裕子： 山口大学大学院技術経営研究科特命教授 コメンテーター 弘岡正明： テクノ経済研究所 会場ポスター展示 3 件： JWSE Women Engineers in Japan 夏世明（同志社大学）、藤原綾乃（文部科学省 科学技術・学術政策研究所） 第 33 回年次学術大会（東京大学・本郷） 【JWSE10 年 女性が拓く今世紀】 「工学の第 3 波は女性エンジニアの活躍が鍵—ヘンリー・ダイアーに学ぶ」 ○ 長井寿 物質材料研究機構 JWSE 功労賞今井兼一郎氏 鈴木真二 東京大学航空宇宙工学教授 代理受領 JWSE 女性エンジニア奨励賞 仲俣千由紀氏（株）IHI 航空・宇宙・防衛事業領域 技術開発センター 要素技術部部长 「かなテラス（かながわ男女共同参画センター）のチャレンジ」 -その政策的意義と今後の課題- ○山本長史（かなテラス 所長） パネル討論「女性が拓く今世紀 -女性エンジニア 5 人にききました-」司会鳥井弘之 パネリスト小林信一（広島大学）、清水章代（北陸先端科学技術大）、元屋地恭子（かなテラス）、渡辺訓江（㈱ブリヂストン） ポスターセッション発表 「理系女性研究者・技術者に焦点をあてたワークライフバランスに関する研究結果」○藤本哲史（同志社大学総合政策科学研究科）他 2 件</p>
2019. 10	<p>第 34 回年次学術大会（政策研究大学院大学） 【通年採用時代の女性エンジニア】 ○塚田恵・石田あずさ（キャタピラー） パネル討論：通年採用のリケジョの反応 司会 藤原綾乃 パネラー：谷川理佐子（早大）、高橋冴実（東大）、野々山智美（農工大）、森上ゆりあ（東工大）、塚本恵・石田あずさ（キャタピラー） JWSE 奨励賞：武田幸子氏（株）日立製作所 研究開発グループ 技術戦略室主任研究員</p>
2020. 10 ZOOM 予定	<p>第 35 回年次学術大会 【これからの女性エンジニア 展望】 JWSE 功労賞 司会 藤原綾乃（日本経済大） ” JWSE の実りある発展への期待” ○武田康嗣氏（元本学会会長、IEEE 終身フェロー） ” 新時代・女性エンジニア活躍推進の重要課題” ○杉田清氏（元・新日本製鉄フェロー、日本工学アカデミー） 基調講演 司会 吉祥瑞枝（JWSE） 「エビデンスデータの活用を通じた政策立案のデジタルトランスフォーメーションに向けて」 ○宮本岩男 内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付参事官（エビデンス担当） パネル討論：女性活躍にむけて ファシリテーター 森容子（理研） パネリスト：石塚朋弘（(株)高砂熱学工業）、後真理子（(株)日本製鉄） 矢野三保子（(株)住友金属鉱山） 参加者との ZOOM 交流トーク 司会 鹿野憲子（JPEC） 若月温美（東葉高）、若月聡（東京理科大）</p>

出典) 筆者作成

* 第 22 回年次学術大会講演要旨集 研究・技術計画学会（2007.10.27~28）東京企画セッション一部記載

(注) 敬称略、所属・肩書は報告当時のもの。